

令和8年度
大阪連続講座

よどがわ 北つかわ のこと 十三・新大阪あたり

淀川区区役所跡地に
新たなランドマークができるなど、
大きく変わっていく十三・新大阪地域の
歴史やまちづくりについて全3回の講演を実施します。

各回ともに

時間 午後2時から3時30分

(開場 午後1時30分)

会場 大阪市立中央図書館

5階 大会議室

定員 300名(申込不要・当日先着順)

第1回 令和8(2026)年7月4日(土曜日)

北へ伸びる大阪-新大阪駅から始まるまちづくりの歴史-

講師 ^{くらかた しゅんすけ} 倉方 俊輔氏 (大阪公立大学大学院工学研究科教授)

第2回 令和8(2026)年7月18日(土曜日)

中島大水道の開鑿と北中島地域の展開-消えた近世地域開発の遺産と歴史的意義-

講師 ^{かいさく} ^{わたなべ ただし} 渡邊 忠司氏 (佛教大学名誉教授)

第3回 令和8(2026)年7月25日(土曜日)

十三駅を中心に見る 阪急電鉄沿線のまちづくりの変遷と今後の方向性

講師 ^{だきえ たくや} 抱江 卓哉氏 (阪急電鉄株式会社沿線まちづくり推進部長)

手話通訳をご希望の方のみ、お申し込みが必要です。

各回とも開催日の2週間前までに、
お名前・ご連絡先・講座名・参加回・「手話通訳等希望」
の旨を明記の上、ファックスでお申込みください。
FAX番号 06-6539-3335
FAXをお持ちでない方は、来館にてお申込みください。

●お問い合わせ

大阪市立中央図書館

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2

電話 06-6539-3302



Osaka Metro千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅
7号出口すぐ

第1回

7月4日
(土)

北へ伸びる大阪

-新大阪駅から始まるまちづくりの歴史-

昭和39(1964)年、東海道新幹線の開業とともに誕生した新大阪駅は、大阪の街を「北へ」押し広げていく起点となりました。御堂筋の延伸、日本万国博覧会EXPO'70を契機とした江坂の開発、梅田スカイビルからグラングリーン大阪へ。各時代の「最先端」が積層するエリアを建築史家の眼で読み解きます。

【講師】 倉方 俊輔 氏 大阪公立大学大学院工学研究科教授

1971年東京都生まれ。1994年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1996年同大学院修了。博士(工学)。大阪市立大学准教授などを経て、2023年から現職。日本近現代の建築史の研究と並行して、日本最大級の建築イベント「東京建築祭」の実行委員長、「イケフェス大阪」の実行委員を務めるなど、建築の価値を社会に広く伝える活動を行っている。

第2回

7月18日
(土)

中島大水道の開鑿と北中島地域の展開

-消えた近世地域開発の遺産と歴史的意義-

中島大水道は、延宝6(1678)年に地域22ヵ村が協力して開鑿した、9キロ余に及び長大な排水路、用水路です。以後、北中島地域の農耕、産業に、明治から昭和の高度成長期まで、大きな役割を果たしました。今は消えた歴史的遺産として、開鑿の目的、開鑿の経緯、開鑿と北中島地域の変化に焦点を当て、歴史的意義を探ります。

【講師】 渡邊 忠司 氏 佛教大学名誉教授

1947年愛媛県生まれ。大阪経済大学大学院経済学研究科博士課程修了。大阪経済大学博士(経済学)。専攻日本経済史・日本近世史。大阪経済大経済学部非常勤講師、大阪市史編纂所大阪市史料調査会主任調査員、大阪大学文学部・佛教大学非常勤講師等を経て、同大学文学部教授、歴史学部教授。2018年4月より現職。

第3回

7月25日
(土)

十三駅を中心にみる 阪急電鉄沿線のまちづくりの変遷と今後の方向性

阪急十三駅は、阪急電鉄の前身である箕面有馬電気軌道が営業開始した明治43(1910)年3月10日に開設しました。その後、大正9(1920)年に神戸線、大正10(1921)年に北大阪電気鉄道が十三～淡路～豊津間を開業(その後、現在の京都線に至る)して十三駅の大きな骨格ができ、その後の改良などを経て現在に至っています。またこのような経過とともに、駅周辺のまちも多くの大衆に愛されるまちとして発展してきており、現在では駅周辺での開発がなされたり、新線の整備も構想されるなど、その将来がさらに注目される地域となっています。今回は阪急十三駅を中心に、阪急電鉄が行ってきた沿線のまちづくりの歴史と現在の動向や今後のまちづくりの方向性についてお話しします。

【講師】 抱江 卓哉 氏 阪急電鉄株式会社沿線まちづくり推進部長

1993年、阪急電鉄株式会社入社。入社以降、計画部署にて新線・新駅計画の策定と関係者協議・調整などを担当、その後、技術部署にて乗客の利便性の向上と安全・安定した鉄道輸送確保のための様々な新設・改良工事にも従事。他の鉄道会社出向を経て、現在は、沿線まちづくり推進部にて、沿線のまちづくりによる沿線価値の向上を目指して、駅周辺の開発・整備や、二次交通ネットワークの充実による利便性の向上、沿線活性化に向けた需要喚起施策や魅力向上施策など幅広く担当。2026年4月より現職。

関連展示

ケース展示「淀川周遊」令和8(2026)年6月19日(金)～9月16日(水)
大阪市立中央図書館 3階閲覧室 エレベーター前